銀漢亭日録

伊藤伊那男

11月27日（日）▼「春耕」前川みどりさん逝去の報。「銀漢亭」開業時にお世話になった方。終日家。「銀漢」一月号の選句と原稿書き。夜、家族と食事。秩父から買ってきた豚肉の味噌漬、孫たちから頼まれたガーリックライス。ジャコ天、かまぼこ……などなど。

28日（月）▼堀切克洋君、「第三回　俳人協会新鋭評論賞・大賞」受賞。「銀漢」にとっても快挙！　故土井弘道氏の神戸大学の同期三名様来店。土井さんの遺言とて。「銀漢」に入会の話で相談あり。

29日（火）▼店、閑散。二十一時半で閉める。

30日（水）▼一月号の彗星集、自句自解原稿を各々送付。やれやれ。広渡敬雄さん会社仲間と六人。二十三時、帰宅し、勉強している孫の横で少し飲む。

12月1日（木）▼「十六夜句会」十三人。「春耕」同人、島田ヤスさん逝去と。一週間ほどの間に三名逝去とは！

2日（金）▼名古屋句会の萩原さん、出版記念会用の短冊ほか書く。店の十一月月次表作成など。伊那市東京事務所長・下平明彦さん来店。駒ヶ根に帰ると寄る「焼鳥ママ」の甥。共通の知人多く、話盛り上がる。

3日（土）▼十三時半より「Oh！　つごもり句会」。超結社で二十八人参加。五句持ち寄り句会。あと席題で三句、二句と。十九時頃、お開き。幹事の朽木直さん、名古屋から来られた山口輝久さんらと「大金星」で打ち上げ。さらに、甲士三郎さんら十人が先に行っているカラオケへ合流。二十三時過ぎまで大騒ぎ。

4日（日）▼十三時半、中野サンプラザ。「春耕同人句会」。棚山主宰欠席。あと忘年会。このところ、升本行洋、前川みどり、島田ヤス同人相次いで逝去にて献杯。あと十人ほどでもう一軒。

5日（月）▼雑用あまた。昼寝。店、「かさゝぎ俳句勉強会」あとの十二人。国会議員のT先生。金井さん、敦子さんと日韓古代史について盛り上がり、二十四時近くにお開き。

6日（火）▼「月の匣」主宰・水内慶太さん誕生祝い。本庄康代、大西酔馬さん幹事で超結社で祝う。三十一人集まる。あと十数名で「ふくの鳥」。発行所では北辰社が私のエッセイ出版の最終打ち合わせ。

7日（水）▼「きさらぎ句会」あと九人。「宙句会」あと十四人。

8日（木）▼父の命日。早めに店に入り、仕込み。「慶應俳句会　丘の会」の年次総会で三十分間の講演依頼を受けており、松代展枝さんに店を頼む。三田キャンパス、ファカルティクラブOB約六十人。「井上井月の生涯について」講演。パーティーのあと、二十一時、店に戻る。「極句会」六人。

9日（金）▼小野寺清人さんの気仙沼高校同期会、二十人。牡蠣蒸焼、牡蠣フライ。まぐろ他刺し身、馬刀貝、イカ焼、海鞘などなど。皆川文弘さん。

10日（土）▼十時、運営委員会。午後、万世橋区民会館にて「銀漢本部句会」五十二人。あと「甘太郎」で忘年会。

11日（日）▼十一時過、名古屋着。新幹線でずっと寝て。十二時より、萩原空木君の『熊野古道を行く』の出版記念会。私と武田編集長がゲスト。テレビ塔横の「囲み屋」。十五人。「名古屋句会」の方々の温かな会。終わった後、急に元気がなくなり、名古屋駅で一時間休み、新幹線でも寝たまま。やっとの思いで帰宅して朝までこんこんと眠る。

12日（月）▼どうやら風邪であったか。蓄積疲労か。昼過ぎまでぐずぐず過ごす。店、藤森さんの「閏句会」八人。池田のりをさん、三笠書房　押鐘会長。

13日（火）▼「火の会」六人。句会終わったあと、メンバーの佐怒賀直美、大塚凱君来る。伊那から、伊那北高校先輩の平澤さんという方が来店。井月本にサインを求められる。

14日（水）▼発行所「梶の葉句会」、選句に。坂口晴子さん、長崎から。店、予約なし。久々、井蛙さん。水内さん一派。

15日（木）▼「銀漢句会」あと十九人。

16日（金）▼来春出版予定の『銀漢亭こぼれ噺』につき、北辰社より帯文が欲しいとの要請あり。酒場の主の本にて、吉田類さんはどうかと思い、昨日、連絡を取ると、マネージャーより「伊那男さんならと二つ返事でOKです」との返事。何とも嬉しいこと。酒場をやっていてよかった！　と思う。三か月に一度の「白熱句会」。水内慶太、井上弘美、佐怒賀正美、檜山哲彦さん。「蔦句会」あと六人。「金星句会」あと六人など。

17日（土）▼十時半、JR石川町駅集合。恒例の「横浜忘年句会」。三十六人集合。山手洋館巡り。快晴。長崎の坂口晴子、大阪の中島凌雲君参加。大佛次郎記念館にて四句出し。中華街にて句会と忘年会。あと十数名で馬さんの店で二次会。

18日（日）▼久々、整体。午後、杏さん一家来て家族と忘年会。十二人。蟹鍋。自作からすみの披露。「真田丸」最終回を見る。

19日（月）▼店、法政大学高柳先生五人。「天為」発行所編集部五人。「演劇人句会」終わって十人。伊那北同期の大住君、二年ぶり来店。心臓手術数回経て生還と！　嬉しいこと。丁度、同期の大野田君いたので三人で祝盃。

20日（火）▼莉子、スキー合宿へ。日曜日に来ていた孫の瑛斗君インフルエンザ。こちらの孫に感染しているかどうか……。十一時半、神保町のイタリアンレストランにて「萩句会」の忘年会ランチに招かれる。店、「雛句会」十二人。対馬康子さんなど。

21日（水）▼休暇まであと二日。「三水会」五人。クリスマス前夜祭とて数人。小学校から高校までの同期の宮沢常泰君の夫人グループ四人。国会議員のT先生、酔っぱライターの江口まゆみさんと。パリ在住のマニベ美佐緒さん夫君のフィリップさんと。私の金魚の句に感銘して一度訪ねてみたかったと来てくださる。堀切君と面識ありと。「天為俳句会」の方々、二次会のあと六人。